

日時：令和7年8月21日（木）14時～  
場所：ピーポート甘木 第6学習室

## 令和7年度 第1回 総合教育会議資料

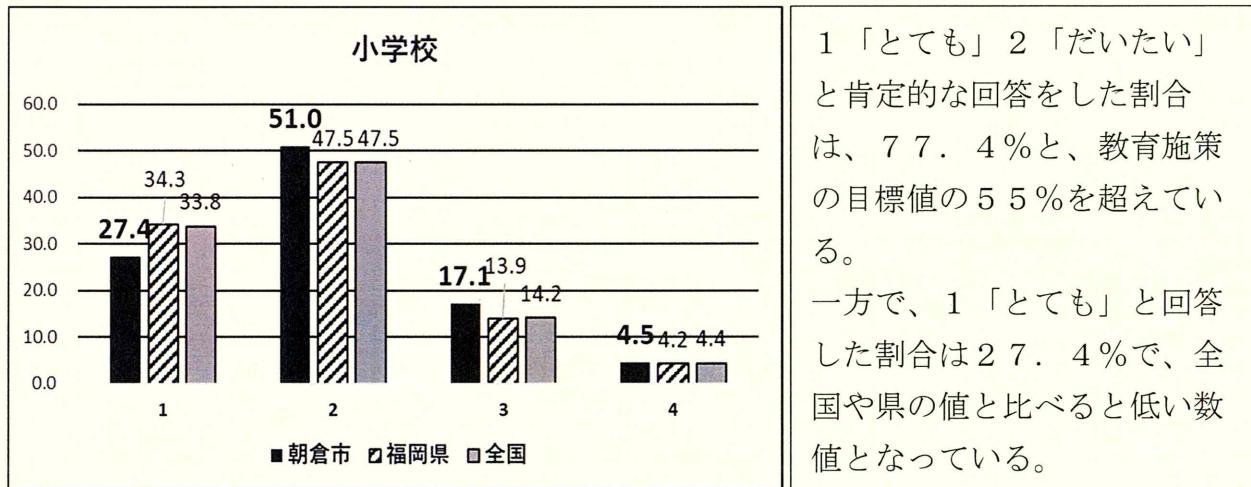
- (2) 小学校副読本「わたしたちの朝倉」について（教育課）

## 小学校副読本「わたしたちの朝倉」の取組について

## 1 児童の現状及び各学校の活用状況について

○「令和7年度全国学力・学習状況調査児童質問紙の結果」から

Q：「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」



○各学校の活用状況から（令和7年8月1日現在）

	社会科	主な学年	総合	主な学年	特徴的な活用
三奈木小	3	3年生	3	3, 4年生	
金川小	3	6年生	3	4, 6年生	教室に常設し、いつでも活用
蜷城小	2	4年生	2	4年生	
福田小	2	4年生	2	6年生	地域人材を知る学習に活用
立石小	3	3, 5年生	3	3, 5年生	社会科で農業をより身近に感じるため（朝倉市の農業に従事する方の工夫や努力を知る）に活用
馬田小	2	4年生	2	4年生	
秋月小	2	3年生	2	3年生	
甘木小	2	3年生	2	3年生	夏季休業中に「わたしたちの朝倉」を使った職員研修を実施し、活用を周知する
杷木小	3	4, 5年生	3	4, 5年生	防災に関しての事前・事後学習の教材として活用
朝倉東小	2	3年生	2	3年生	夏季休業中に「わたしたちの朝倉」を使った職員研修を実施し、地域の施設巡りを行った
大福小	3	3, 4年生	3	3, 4年生	令和7年度「総合的学習の時間」のカリキュラムを「わたしたちの朝倉」の内容で再編成
平均	2.5		2.5		

【各小学校への聞き取り調査結果：4すべて 3ほとんど 2一部 1あまり】

社会科や総合的な学習の時間で、教科書にはない、身近な教材としての活用が見られた。一方で、学校間において、活用状況や活用の工夫に差がある。

三奈木小	「わたしたちの朝倉」のPDF版やデータ版があれば、タブレットPCでの活用もできる
秋月小 大福小 福田小	朝倉市に住んでいる子どもたちだが、社会科の教科書では、横浜のシーマイを教材として扱っている。身近なものないので、課題意識が高まらない。以前は、社会科は朝倉市の教材をもとに教育課程（カリキュラム）を工夫していた歴史があり、「わたしたちの朝倉」を発刊した機会に、朝倉市独自の教育課程（カリキュラム）の工夫を行ってはどうか。
秋月小	朝倉市が掲げる「みず光る朝倉」とあるように、朝倉は「みず」に関連する教材の宝庫である。小学校の社会科では、どの学年も「みず」との関連を教材として扱う。そこで、「わたしたちの朝倉」は教材として優れていることを、市の委託研等を通して研究し、市の小学校全体に発信していきたい

## 2 今後の活用について

○各学校への聞き取りから

○活用促進の方策について

□3ステップの活用促進

**1ステップ** ⇒ 知る（気づく） 「わたしたちの朝倉」の活用周知

◇西日本新聞社への記事の掲載（令和7年5月13日）

◇校長会での説明（毎月実施される定例校長会等で紹介）

◇各種教職員研修会での活用

- ・市若年教員研修（令和7年8月29日）にて、市の文化遺跡を巡るフィールドワークを実施し、その中でグループのプレゼン等に活用）
- ・市教務担当者研修会（令和8年1月27日）にて、「わたしたちの朝倉」を使用した実践を紹介し、次年度の教育課程への反映を周知

**2ステップ** ⇒ 考える 「わたしたちの朝倉」の活用方法を吟味

◇市教育支援センター委託研において活用方法等の調査研究の実施

- ・令和8年度の調査研究として検討

◇校内研で活用推進の研修会を実施

- ・令和7年度（朝倉東小、大福小実施済み）→2学期以降校長会等で依頼

**3ステップ** ⇒ 実行する 「わたしたちの朝倉」を活用した実践の積み上げ

◇「わたしたちの朝倉」を生かした教育課程（カリキュラム）の編成・実施

- ・総合的な学習の時間におけるカリキュラムの再編成

～「人 自然 歴史が織りなす 水ひかる 朝倉」（仮）カリキュラム作成～

◇キャリア教育、ワンヘルス教育等と関連した「社会や地域貢献」を目指した活動報告（令和7年度朝倉東小、比良松中でワンヘルス教育報告会を開催予定）

□その他

- ・ふるさと納税の返礼品として「わたしたちの朝倉」を希望者に配布  
→西日本新聞社で紹介以降、欲しいという要望が多数。残数が30冊程度なので  
希望者への配布は断っている。学校への問い合わせも多い。